

# 農家を苦しめないよう、町は働きかけを

答 地権者の意向を尊重し、事業者に協力していきます

## 町のかかり方は

グッドマンジャパンとのこれまでの進捗を伺います。

町長 開発計画表明後、令和5年4月からは、地権者に対し、町とグッドマンジャパンの共同で土地利用等意向調査を実施し、希望のあった24名の方に個別相談を実施しています。意向調査の回収率は94.3%であり、約77%の方が事業に賛成、条件次第の方も含めると94%の方が土地売却可能という結果です。その後、地区の要望により、五辻地区、鷹ノ巣地区の方々に進捗状況の報告及び意見交換を行いました。

町長 町は、説明会や意向調査を主体的に進めており、地権者の意向確認に努め、グッドマンジャパンの開発計画に協力してまいります。グッドマンジャパンは、11月から地権者へ個別交渉を行っていく予定としておりますが、個別交渉までの間、町と事業者で相談を受け付けており、現在まで数件の相談がありました。

町長 町は、説明会や意向調査を主体的に進めており、地権者の意向確認に努め、グッドマンジャパンの開発計画に協力してまいります。グッドマンジャパンは、11月から地権者へ個別交渉を行っていく予定としておりますが、個別交渉までの間、町と事業者で相談を受け付けており、現在まで数件の相談がありました。

町長 町は地権者の方々の住居、農地の移転先をどうお考えですか。

## 空港地域振興室長

民間事業者の開発行為であり、住居や農地の代替地はグッドマンジャパンが移転先を今後示し、住んでいる方々のご意見などを確認します。意向調査では、農地の代替地を希望される方がいましたが、11月以降に予定される個別面談で意向を再度、確認したうえで対応となります。町の対応は、それらの計画が出たうえで、町としてやるべきことを行っています。

町長 地権者の方々の折り合いがつかなかった場合の対応はどのようにお考えですか。

## 空港地域振興室長

面談が1回、2回で終わるわけではありせんし、何度も話し合い、折り合いをつけていくものと考えます。特に条件付き賛成の方は、グッドマンの意向により個別面談で価格や補償物件などの対応が示され、面談を重ねると思います。グッドマンジャパン、地権者から相談があった場合、相談内容によって町がどのような対応をできるか、考えていきます。

橋本 孝之 議員

所要時間 61分



町長 町は地権者の方々の交渉役をすべきと考えますが。

## 町長

民間の開発ですので、町が関われる部分と関われない部分があり、個別交渉の中で出てきた皆様方の意向をグッドマンと共有し、町として何ができるのか、何が協力すべきことなのか、グッドマンにお願しい主導的にやってみようとは何か、今後も精査してまいります。

町長 グッドマンからの事業計画が11月に上がってくるのですが、町の対応はどのようにお考えですか。

## 空港地域振興室長

グッドマンジャパンの意向を尊重し、事業縮小などを行うことなく計画どおり進めていきたいので、町としてできることを進めていきたいと考えます。

## 十分な周知と準備を

問 12月2日以降、健康保険証がマイナ保険証に移行しますが、町の対応は。

## 住民課長

健康保険証は、12月2日以降も有効期限まで引き続き使えます。マイナ保険証をお持ちでない方には従来の健康保険証に代わる「資格確認書」を(プッシュ型で)発行する予定です。

## 休耕地の解消へ

問 田んぼおこし協力隊をつくるべきでは。

## 産業経済課長

このような方々が半農半Xのような形で定着していただくことにより、町の隅々まで農地の適正利用が図られるようになれば理想的でありますので、今後研究してまいります。



地域おこし協力隊で水田の再生を

# 恵まれた自然と豊かな農産物、道の駅多古の今後は

答 お客様から選ばれる「道の駅」を目指します

## 株多古の生い立ち

町は(株)多古にどのような権限を持ち、株主として実質的支配権を持つと言われるゆえんは。

町長 町は54.4%の株式を保有しており、一般的に2分の1を超える株式を保有している場合、株主総会の議決事項を単独で可決することが可能です。また、必要に応じて助言、指導を行うことができるとされています。

問 道の駅多古は、県内10番目の施設として誕生し、続けてくりもと、はすめま、しばやまトライバル店が現れ、選ばれる立場になりました。状況はいかがですか。



香取・東総地区では初の道の駅

町長 設置当初は売り上げも順調に伸びましたが、徐々に周辺市町に道の駅が設置されると、売り上げとレジ通過人数は減少し、平成17年度・7億6400万円、平成18年度・7億6400万円、令和元年度は5億4500万円余りと、過去最低となりました。

町長 赤字体質と言われる道の駅多古ですが、令和6年度営業報告は黒字に転じたとのこと、このような状況の中、ここまで業績を回復させてきた経営陣と社員の努力は評価に値すると思いますが、今後の経営方針は。

## 町長

(株)多古は、道の駅多古の運営を担うとともに多岐にわたる事業を行っており、地域の活性化に必要不可欠な会社であると思っています。今後は農業振興、地域の活性化を念頭に、まずはお客様から選ばれる「道の駅」を目指します。そのためには、お客様の満足度の向上が不可欠であり、品質とサービスの向上、そのための勉強会や査定会、顧客ニーズの把握、社員教育の実践を継続することが重要と認識しています。

土井 秀敏 議員

所要時間 47分



町長 この道の駅でも棚を飾っており、今が旬の果物などは他県産です。ワンストップで買いたい物を済ませたいとの要望があるからだと聞きますが。

## 産業経済課長

お客様ニーズに合わせるため町内にないもの、端境期で品薄になるものを市場から仕入れています。青果については成田公設市場、あるいは船橋市の地方卸売市場から仕入れています。

町長 新鮮、安全、高品質を維持するためには、出品者協議会との協力が必要です。出品するにはルールがあるように伺っていますが、クレームなどの状況は。

## 産業経済課長

出品者同士の話し合い、道の駅多古との話し合いが重要で、自主的にルールを作り対応しているのが現状です。クレームについては徐々に



輸出で販路の拡大を

町長 出品者協議会との不協和音を取り沙汰されている輸出事業だが、取締役会での協議、出品者協議会への事前説明はなされているのか、なぜ、道の駅多古で輸出事業をするのか。

## 産業経済課長

(株)多古は会社組織です。取締役会、株主総会など承認を得る必要があります。出品者協議会の各部長との意見交換会でも事前に説明し、報告もしています。(株)多古は地域農産物の販売、空港での商品販売、航空会社と組んで新たな事業展開など、商社機能を持していることから、輸出に係る知識や経験、人脈などを蓄積していくことにより多古町の農業振興のさらなる発展が実現できると考え、(株)多古と組んで輸出事業に取り組んでいる状況です。